

## 教 授 会 議 事 録

日 時：平成 19 年 1 月 9 日（火）14 時 03 分から 15 時 28 分

場 所：電気通信研究所大会議室

出席者：議長（所長）他教授 25 名、助教授 12 名

議事に先立ち、平成 18 年 12 月 13 日付け採用の客員助教授から自己紹介があった。

### 議事録の確認

平成 18 年 12 月 12 日（火）開催の定例及び臨時教授会議事録について、原案のとおり承認した。

### I. 報告事項

#### 1. 学内外諸会議等報告

##### (1) 教育研究評議会

所長から、12 月 14 日に開催された教育研究評議会について、下記の報告があった。

- ① 総長選考会議委員の選出について
- ② 非常勤講師の時間単価について
- ③ 規程の改正について

このことに関連して、電気情報・物理工学科を情報知能システム総合学科に名称変更することが了承されたとの付言があった。

- ④ 河北新報社との協定について

##### (2) 部局長連絡会議及び部局長懇談会

所長から、12 月 19 日に開催された部局長連絡会議及び部局長懇談会について、下記の報告があった。

- ① 八木山外国人宿泊施設の譲渡に伴い中期計画を変更することについて
- ② 本学職員の給与の取扱いについて

このことに関して、総務課長から、配付資料に基づき、平成 19 年 4 月 1 日から実施される給与改定について説明があった。

- ③ 平成 19 年 3 月学位記授与式及び平成 19 年度入学式の実施について
- ④ 平成 20 年 3 月学位記授与式及び平成 20 年度入学式の実施について
- ⑤ 科学研究費補助金に係る不正使用等防止のための措置について
- ⑥ 百周年記念募金について

このことに関し、通研の募金状況について他研究所との比較説明があり、金額の多寡ではないので是非協力願いたいとの付言があった。

引き続き、部局長懇談会について、下記の報告があった。

- ⑦ 海外インターンシップについて
- ⑧ 世界トップレベル研究拠点（トップ 30）について

また、12 月 26 日に開催された部局長連絡会議について、下記の報告があった。

- ⑨ 平成 19 年度政府予算について
- ⑩ 科学研究費補助金「基盤研究（B）」及び「基盤研究（C）」の間接経費が措置されることについて
- ⑪ スパコン設置の候補地について
- ⑫ 研究分担者の重複の制約について

## (3) 研究所長会議

所長から、12 月 19 日に開催された研究所長会議について、下記の報告があった。

- ① 通研が平成 19 年度の国立大学附置研究所・センター長会議の会計監査に指名されていること。
- ② 平成 19 年度の研究所長会議世話部局は通研であること。また、平成 19 年度片平まつりの世話部局は多元研であること。

## (4) 百周年記念事業代表者連絡会議

12 月 20 日に開催された百周年記念事業代表者連絡会議について、下記の報告があり、今後様々な対応が求められることになるので協力願いたいとの付言があった。

- ① 8 月 25・26 日に百周年まつりを実施すること。なお、百周年記念事業の一環として実施する片平まつりは 7 月 28・29 日に開催すること。
- ② 8 月 27 日に開催する記念式典の招待者を 1000 名程度と考えており、そのうち部局からの招待は、250 名程度となる予定であること。
- ③ 百周年記念展示企画として、平成 19 年 9 月 1 日（土）～10 月 14 日（日）に江戸東京博物館を会場に記念展示を行うこと。通研からは、八木教授、岡部教授、西澤教授及び、電気系からは田中耕一さんの関係資料を展示すること。

また、平成 19 年 11 月 2 日（金）～12 月 9 日（日）は、仙台市博物館を会場に記念展示を行うこと。仙台会場の通研からの出展内容については、百周年記念事業電気通信研究所実行委員会で検討すること。

- ④ 東北大学の「学章」、「スクールカラー」等の制定について検討していること。

## (5) 学生生活協議会学寮専門委員会

12 月 25 日に開催された学生生活協議会学寮専門委員会において、旧「有朋寮」建物明渡等請求訴訟の判決が確定したことを受けて、仙台地裁が 12 月 16 日に強制執行したことについて報告があった。

## 2. 運営会議等報告

## (1) 研究企画戦略室

グローバル COE ワーキンググループの検討状況について、下記の報告があった。

- ① グローバル COE の目的は、研究プロジェクトではなく、世界最高水準の優れた研究基盤を前提に、高度な機能を持つ教育研究拠点（人材養成の場）を形成することであり、特に若手研究者（DC、PD）の育成が求められていること。
- ② 提案は、現 21COE の 3 大デバイスに重きを置きつつ、情報知能システム、ネットワーク及びサービスに力を入れていく方針であること。
- ③ コアメンバーで評価対象となる事業推進担当者 10 名が決定したこと。
- ④ 1 月 5 日の本部ヒアリングには 19 件の提案があり、関連する分野については調整されることになっていること。また、1 月 29 日には総長ヒアリングが予定されていること。

## (2) 安全衛生委員会

12 月 26 日に開催した安全衛生委員会について、下記の報告があった。

- ① 生命科学研究所で放射線を用いた実験が予定されており、放射性物質は  $^{33}\text{P}$  で、ゲルクロマトグラフィーを使用し測定するとのことで、放射線量は数メガベクレルで規制値以下であること。現在は、実験開始に向けて文部科学省と調整中であり、決定次第通研にも知らせてもらうよう依頼したこと。
- ② 東北大学安全・衛生管理者及び安全管理担当者連絡会（第 2 回）において、下記の点について特に注意があったこと。また、この連絡会の内容は重要なので、WEB で公開されることになっているが、通研においては文書で各研究室の安全管理担当者あてに通知することとしたこと。

- ・ 危険な装置が安全管理担当者の知らないうちに購入され、危険な状態で使用されていた部局があったので、十分な安全対策を行った上で使用するよう注意があったこと。このことに関連して通研としては、組織としてチェック体制を整えるために、実効的な方法を事務と安全衛生管理室で相談・検討することとしたこと。
  - ・ レーザー関係の実験を行う場合には、ゴーグルをかけてから実験室に立ち入るようにすべきなので、ゴーグルを実験室外に配置するよう指摘があり、通研においても改めて安全衛生管理室から通知すること。
  - ・ 局所排気装置及びスクラバー定期自主検査について、通研では今年度は業者に依頼して検査を実施したが、来年度から自主検査を実施すること。技術的なフォロー及び立ち会いは衛生管理者が行うこと。
  - ・ 粉じん作業を行う作業場の作業環境測定について、通研は該当しないが、薬品関係に関して作業環境測定が必要であること。
- ③ アスベスト撤去工事はすべて終了したこと。また、アスベスト粉じん濃度を測定した結果、基準値を大幅に下回っており問題はなかったこと。
  - ④ 巡視の際に指摘された危険な低圧分電盤について調査した結果、一部危険な箇所があったため、今年度内に工事を実施すること。なお、経費については、通研として設置しているものは研究所負担とし、実験装置用に各研究室で設置したものは研究室負担とすること。
  - ⑤ 以前から本部に申し入れていた通研 2 号館の耐震工事について、法令上の基準を満たすために、壁にスリットを入れる工事を行うことになったこと。なお、工事期間は 2 月頃から 2 ヶ月程度の予定であるので、協力願いたいこと。

### (3) 予算委員会

委員長から、平成 18 年度の予算の追加配分について、12 月の教授会の時点では基準分野で 616,000 円を追加配分する予定であったが、結果的には、702,000 円の追加配分になり、合計で 3,117,000 円の配分となったとの報告があった。また、他部局の状況を調査したところ、ほぼ同程度の配分額であり、通研が特に多いという状況ではないので、今後外部資金の獲得に更なる努力をしてほしいとの要請があった。

なお、経理課長から、配分された経費の執行について協力依頼があった。

### (4) IT-21 センター運営委員会

先月提案した新規プロジェクトの募集について、2 月末日を締切りとしたとの報告があった。

### (5) 学部教務委員会

12 月 25 日に開催された系内学部教務委員会の通研関連事項について、配付資料により報告があった。

## 3. その他

### (1) 職員及び学生の受賞について

議長から、配付資料に基づき、職員及び学生の受賞について報告があった。

### (2) 受託研究員の受入れについて

議長から、配付資料に基づき、受託研究員の受入れについて報告があった。

### (3) 奨学寄付金及び受託研究の受入れについて

議長から、配付資料に基づき、第 3 四半期分の奨学寄付金及び受託研究の受入れ状況について、報告があった。

## II. 協議事項

### 1. 助教授人事について

人間情報システム研究部門 先端音情報システム研究分野助教授の選考をしたい旨の提案があり、承認した。

引き続き、議長から、選考委員会委員の提案があり、承認した。

### 2. 教員の割愛について

議長から、やわらかい情報システム研究センター助手に対し、平成 19 年 4 月 1 日付けで国立大学法人名古屋工業大学大学院工学研究科助教授として就任の割愛依頼があった件について説明があり、承認した。

### 3. 研究基盤技術センターについて

議長から、平成 18 年 10 月教授会で設置が承認された研究基盤技術センターについて、今後内規等の制定等の手続きをとることになるが、それらを進めるうえで早めにセンター長の選出をしたいとの説明の後、提案があり、承認した。

### 4. その他

#### (1) 委員会等委員の選出について

議長から、委員会等委員の選出について、提案があり、承認した。

## III. その他

#### (1) 平成 19 年度部門長等各種委員会委員の交代について

議長から、配付資料に基づき、任期満了となる各種委員会委員について、2 月教授会で一括して審議したいので、次期委員候補者を人選いただき、1 月末日までに庶務係に報告願いたいとの依頼があった。なお、次期候補者が未定である場合は、留任願いたいとの付言があった。

#### (2) 井上プランについて

井上総長の 6 本柱の総合戦略プラン（教育、研究、社会貢献、キャンパス環境、組織運営、病院経営）について紹介があり、意見があったら申し出てもらいたいとの付言があった。

#### (3) 「通研の研究者が語る未来」の原稿依頼について

12 月教授会で依頼した「通研の研究者が語る未来」の原稿執筆について、締切りを 1 月 5 日（金）としてお願いしていたところであるが、今年度中の発行を目指していることから、未提出者には 1 月 12 日（金）締切り厳守で提出願いたいとの発言があった。

また、所長から、出版元は財団法人電気通信工学振興会としたいとの付言があった。

#### (4) 1 月 12 日付けで異動となる経理課長から、挨拶があった。

#### (5) 次回開催について

平成 19 年 2 月 13 日（火）14:00 から開催することとした。